

授業科目 中枢神経系理学療法学（成人）

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	理学
星 孝		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	5（うち4単位）	時間数	135（うち105）
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		◎	
【概要・一般目標：G10】					
中枢神経系疾患の病態や加療時期の違いによる理学療法を理解し、必要な検査項目を列挙および選択できるための基礎知識を修得する。さらに治療方法への展開につながる基礎的な技術を身につける。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 症例に必要な検査項目を理解し、選択する 2. 脳血管の走行や名称を述べる 3. 脳の機能局在や障害により出現する症状を述べる 4. 脳循環の基礎とオートレギュレーションについて説明する 5. 脳卒中患者の病態と合併症を説明する 6. 脳卒中患者のリスク管理の重要性について説明する 7. 脳卒中症例の運動負荷の考え方を説明する 8. 全身管理の判断に必要な評価を理解し説明する 9. 中枢神経系疾患に対する各検査の意義を理解し、検査測定を実施する 10. 中枢神経系疾患ケースの動作分析の意義を理解し、分析する 11. 評価実施の導入や結果を患者（家族）に説明する 12. 中枢神経系疾患の症状を評価し、治療計画の立案を模倣する 13. 中枢神経系疾患に対する運動療法を模倣する 14. 加療する時期や症状の違いおよび障害重症度による理学療法展開の違いを述べる 15. 脊髄損傷患者の障害像について説明する					
回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	オリエンテーション、CVAスクリーニング		本授業のスケジュール、試験方法と評価規準。スクリーニング表に記載されている項目の理解と意義		
2	画像診断		講義：CT、脳血管、脳の機能局在		
3,4	脳卒中急性期の医学的治療		講義、演習：脳卒中の各種病態。リスク管理を行うための脳循環の基礎		
5,6	中枢疾患の運動負荷		講義、演習：臥位、座位、移動時における血圧、脈拍測定。10m歩行測定		
7,8	急性期の評価とリスク管理		講義、演習：全身管理を考慮した理学療法の展開。ベットサイド時期の管理		
9,10	片麻痺運動機能検査		講義および演習：プルンストロームテスト。中枢性疾患の筋力測定		
11,12	筋緊張検査		講義、演習：筋緊張検査、アッシュワーススケール など		
13,14	協調性検査（失調症）		講義、演習：測定障害、共同運動障害、運動転換障害 など		
15,16	動作分析（1）		講義、演習：姿勢評価、基本動作の分析		
17,18	動作分析（2）		講義、演習：予測的姿勢制御。運動連鎖		
19,20	歩行分析		講義および演習：観察による歩行分析		
21,22	評価の統合		講義、演習：症例に必要な評価項目の選択、問題点の検討		
23,24	動作分析（3）		講義、演習：トランスファーの実際、図を使用した説明パンフレットの作成		
25,26	中枢神経疾患の運動療法（1）		講義、演習：神経筋アプローチの紹介。亜急性から回復期の理学療法		
27,28	中枢神経疾患の運動療法（2）		講義、演習：寝返り、起き上がりの評価と運動療法（星孝、PT 田中健）		
29,30	中枢神経疾患の運動療法（3）		講義および演習：直接的な運動療法と運動の要素を考慮した運動療法		
31,32	中枢神経疾患の運動療法（4）		講義、演習：端座位、立ち上がりの評価と運動療法（星孝、PT 田中健）		
33,34	中枢神経疾患の運動療法（5）		講義、演習：ブッシュナー症候群の評価と理学療法		
35,36	中枢神経疾患の運動療法（6）		講義、演習：立位の評価と運動療法（星孝、PT 田中健）		
37,38	中枢神経疾患の運動療法（7）		講義、演習：運動失調症の運動療法		
39,40	中枢神経疾患の運動療法（8）		講義、演習：歩行の評価と運動療法（星孝、PT 田中健）		
41,42	加療時期に応じた理学療法		講義：急性期、回復期、慢性維持期あるいは医療施設、介護保険系施設		
43,44	予後予測		講義、演習：中枢神経系疾患の予後予測。安全管理が困難な症例の検討		
45,46	脊髄損傷		講義、演習：脊髄損傷ケースの運動療法（PT 五十嵐進）		
47-53	症例検討（1）—（4）		講義、演習：臨床思考的症例検討。評価および理学療法を検討		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	中枢神経障害理学療法学テキスト (シンプル理学療法学シリーズ)	細田 多穂、植松光俊 他	南江堂		2010・4,800円＋税
	病気がみえる vol 7 脳・神経	医療情報科学研究所 他	メディックメディア		2011・3,800円＋税
	理学療法評価学テキスト(シンプル理学療法学シリーズ)	細田 多穂、星 文彦 他	南江堂		2010・5,700円＋税
参考書	観察による歩行分析	月城 慶一、山本 澄子、江原 義弘	医学書院		2013・5,000円＋税
	脳卒中最前線 第4版	藤田 勉	医歯薬出版		2009・8,800円＋税
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
本学の単位修得規程に掲げる出席条件に満たないものは、本科目試験の受験は不可とする。授業態度や授業への主体的参加度については定期試験を受ける必要条件として評価する。定期試験は筆記試験および実技試験とし、試験範囲は各回の学習課題に関する知識と検査測定技術、治療技術の手順を遂行することで総合的に評価する。			実技や検査測定（触診も含む）の実施に適切な服装で参加してください。		